

様式第6号(第2条関係)

委員会等の会議録

1 会議名	令和5年度愛南町福祉関係計画策定懇話会	
2 議題	(1) 第7期障がい福祉計画等に係る基本指針について (2) 第6期障がい福祉計画の実績及び課題について (3) 第7期障害福祉計画及び第3期障がい児福祉計画について (4) その他	
3 開催日時	令和5年12月26日(火) 15時00分から16時20分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁3階 大会議室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	砂田 陽子、竹場 妙、斎藤 弘文、山田 功、前田 和美、 吉田 英史、長野 敏宏	
7 担当所属	所属名	保健福祉課
	担当職員 (職・氏名)	課長 中川 菊子 課長補佐 越智田 耕平 課長補佐 倉野 豊成 主査 山田 由佳
8 その他の 出席職員	所属名	
	出席職員 (職・氏名)	
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
事務局(越智田)	定刻になりましたので、ただ今から令和5年度第1回愛南町福祉計画策定懇話会障害福祉の部を開会します。開会に当たりまして、保健福祉課長中川から御挨拶を申し上げます。
中川課長	(開会挨拶)
事務局(倉野)	この会議は、愛南町住民参画推進条例に基づき公開会議とし、会議録をホームページにて公開しますので御了承願います。それでは、これより先は愛南町懇話会等の設置及び運用に関する要綱第5条第2項の規定により、保健福祉課長補佐の越智田が議長として進行します。
事務局(越智田)	司会進行を務めます保健福祉課の越智田です。それでは議題に移ります。議題(1)「第7期障がい福祉計画等に係る基本指針」について、事務局から説明をお願いします。
事務局(倉野)	(第7期障がい福祉計画等に係る基本指針について説明)
事務局(越智田)	ただ今事務局から説明がありました第7期障がい福祉計画等に係る基本指針について、御質問等はございませんか。
長野委員	<p>計画作りで大変だと思うのですが、まだまだこれから決めることがたくさんあると思いますし、仕組みなど大変だと思いますが一緒にやっていたらと思います。根幹の部分で少し気になったことを意見申し上げます。まず、この計画策定の趣旨の文章が余りにちょっと悲しいです。この障がい福祉計画が誰のためにあるのかといいますと、障がいを持つ御本人のためにあるもので、そこで行政の計画が必要最低限のサービス量を確保すると言われて皆さん元気に暮らせますか。計画なので、行政としては財源も人材もなく制度もかなり厳しくなっていますので、何でもサービスではないですよということを言いたいのには分かりますが、冒頭に持ってくる話ではないです。</p> <p>高い理念があると思いますし、やってきたと思いますのでここは全面的に書き直されるのが良いと思います。2番の方針のところも福祉人材が不足するとありますが、これは、全国の一般論ではそうですが障がいを持った方が支えられるのは福祉人材だけでは決してありません。町でどう支えられるようにするの</p>

発言者	発言内容
	<p>かということが大事です。どのような趣旨でどのような方針で作るのが大事なので、もっと温かい生の言葉で思いが入るような文章にしたらどうでしょうか。総合支援法と児童福祉法のサービスの整備に寄り過ぎていますので肝心の障害者基本法のベースのところ、人権をどう守るのか御本人がどういった意識で暮らすかといった大元のところは理念としてしっかり書くといいと思います。あとはサービスをどう提示するかということを中心にピンポイントで書いていく2本立ての関係が良いのではないかなと思いました。あとアンケートを毎回取られるのはとても良いと思うのですが、行政が把握するためのアンケートではないですね。町の人や福祉の事業者に叶えていただいたり、ないものを作り出していくことが必要になってきますので、この声をどう共有するか町に知っていただく必要があると思います。もう1点根幹の部分で、前回も申し上げたような気がしますが懇話会に障がい当事者が入っていないのはやはりおかしいです。これからは御自身が発言して御自身がどうしたいかという時代です。各障がいもそうだし一人一人、形ではなく御本人がきちんと発言できて参加できる仕組みは不可欠だと思います。御本人から出てくる言葉は全部本物ですね。懇話会に障がいを持った方御本人が入られるというのは、これからの時代の計画作りとしてはとても大切です。数値的なこともすごく大事ですがマインドの部分は温かい言葉に変えてもいいのかなと思いました。</p>
事務局(越智田)	<p>ありがとうございました。ほかにございませんか。</p>
山田委員	<p>アンケートのことで47%の回答があったということですが、ある方から相談がありまして、その時に「これを書いてどれだけのメリットがあるのか。これを正直に書いて行政が本当にこれをしてくれるのか」と言われました。どこまで行政ができるかは分かりませんが、自分が困ったことはどんどん言っていくべきではないかと思います。それともう1点、身障者用の駐車場で車椅子も降ろすときに、天気の良い日はいいですが雨の日は濡れながら乗り降りしています。本庁にもありますが、もう少しスロープを内側にも付けていただいたら屋根のあるところで乗り降りできますので、無理を言っているとは思いますがこれから改修をする場合は、そのことを頭に入れておいていただ</p>

発言者	発言内容
事務局(倉野)	<p>けたらと思います。ノンステップバスを検討していると聞きました。それも良いことですが、できれば車椅子も乗せれるような車を町で用意してもらって貸出ししてほしいと思っています。そうなれば私たちも行動範囲が広がっていくと思います。</p>
事務局(倉野)	<p>その辺りのことに関しては保健福祉課だけでは対応できないので、今後、関係各課と検討していきたいと思っています。</p>
竹場委員	<p>これからは考え方を変えないといけないと思いました。ここ数年のうちに法律とか制度とかサービスがいろいろと変わったということと、人材不足というのはもうこれからは言うてはいけない言葉ではないかと私は思っていて、町内で熱心に取り組んでくれる人たちをどれだけ確保できるか、その人たちに知識を持ってもらいながら一緒にというところで、役割分担しながらやっていく必要があるのではないかなと思います。</p>
吉田委員	<p>アンケートの数字、集計はきちんと合っていますか。例えば9ページの療育手帳の交付状況で合計数が違うところがありますし、あとN329の中でも回答数が合っていないところが何箇所かありました。このデータは1番根拠になるところですので、もう一度見直していただけたらと思います。アンケートの後段の自由記載欄の部分を大事にして計画に載せてもらいたいと思います。車椅子の貸出しができる事業所は私も把握していないので、その辺りもマップなどを考えていったらどうでしょうか。今後はどのようなスケジュールで動くのでしょうか。</p>
事務局(倉野)	<p>スケジュールは後ほど説明する予定でしたが、本日いただいた御意見をできるだけ反映させまして1月末又は2月の頭ぐらいにこの会を開き、提示させていただければと思っています。その後パブリックコメント、自立支援協議会にかけた後、最終的な計画の作成という形を取るような計画になっています。車椅子の貸出しマップですが、今貸出ししているのは社協だけです。ホームページや広報などで周知できるように考えていきたいと思っています。</p>
事務局(越智田)	<p>ほかに御意見等ございませんか。</p>

発言者	発言内容
山田委員	<p>これから南海トラフなどで避難することが多いと思いますが、どこの避難所も坂の上とか高いところにありますよね。そこに逃げようと思っても階段があるので車椅子ではとても上がりません。健常者をお願いしないと避難できません。誰かに助けて欲しいと言っても皆さん自分を優先すると思うので、もう少し避難しやすい避難場所を作ってほしいです。近隣には避難タワーがあり、車椅子の人もスロープで登って避難できるようになっているので、愛南町にも一つ避難タワーが欲しいなと思いました。</p>
事務局(倉野)	<p>その辺りのことに関しましては関係各課と協議が必要になりますので、この場で明確なお答えはできません。申し訳ございません。</p>
砂田委員	<p>第7期を計画するに当たり何も変わらずに3年経ちましたとなるよりも、3年でこんなことができましたと良い報告があると嬉しいです。</p>
前田委員	<p>学校に関するところは気になりますので特に丁寧に見ましたが、やはり厳しい意見があるということを真摯に受け止めています。ただ障がいに関する学習についてはどの学年も必ず道德の授業、特別活動など人権同和の観点からも必ず授業の中で指導しています。どの学校も力を入れて指導していますので更に裾野を広げて子供たちの中にしっかり定着していくようにしなければならぬと思いました。それから不満のところ、その学校の障がい理解がまだ十分ではないとか、十分な支援が受けられていないというような厳しいお声もいただいているということも真摯に受け止めたいと思います。</p> <p>この計画も本人の希望や気持ちが叶えられるような環境をどのように人的物的に整えていくのかということが反映されるべきところなのかなと思います。アンケートもすごく多岐にわたってすごく丁寧に取っていただいているのですが、それよりも自由記述の中の素の言葉の方にすごく私は心を打たれたというか、考えさせられるところも多かったので何に対してアンケートを取るのか、これを調べたいからこのアンケートを取っているということも大事なので、そういうところを精査していく必要があるのではないかと思います。アンケートを取ったな</p>

発言者	発言内容
	<p>ら、そのアンケートをどう生かしていくのかというところも重要になってくるのではないかと思います。自由記述の中の言葉をどう拾っていけばいいのか学校の方でも考えていきたいと思います。実際にこれだけのお金をかけて整備をされているということが学校現場は知らないことが非常に多くて、それだけのものを学校が活用できていないのではないかと思います。自分自身が感じていますので、今回いただいた結果も含めまして校長会の方でも、この情報を共有させていただき学校としてどのように取り組んでいけば良いのかということを経理を始めて愛南町全体で考えていけるシステムになれば良いのかなと思います。</p>
事務局(倉野)	<p>先ほど課長からも説明がありましたように内容的に不備なところが多々ありますので、今回はこの資料でという形で協議していただいています。</p>
事務局(越智田)	<p>ほかに御意見御感想などはありませんか。</p>
中川課長	<p>御意見たくさんありがとうございました。計画の進捗が思うように進んでいなくて大変皆さんに御迷惑をおかけしているところです。皆さんからも御意見いただいたように、これからまた御意見を基に計画の方は盛り込んで作っていきたくと思っていますが、役場だけでできることではなく皆さんの力をお借りしながら一緒に進めていけたらと思っていますので、今後とも力を貸していただけたらと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。</p>
事務局(越智田)	<p>いただいた御意見を次回の懇話会までに反映して計画の素案を作っていきたいと思います。以上をもちまして、令和5年度第1回福祉関係計画策定懇話会を終了させていただきます。本日はお忙しいところ長時間にわたり御協力ありがとうございました。</p>